

平成 30 年度 海外インターンシップ報告書

信州大学繊維学部 化学・材料学科 応用分子化学コース 3年

実習期間	平成 30 年 8 月 20 日(月) ~ 8 月 31 日(金)	12 日間
実習企業	NiKKi Fron 株式会社	
実習地	タイ 700/684 Soi Amata Nakorn Industrial, Phan Thong, Amphoe Phan Thong, Chang Wat Chon Buri 20160	

1. 実習目的

Chapter1 purpose

実際の勤務を経験して、社会で必要とされている知識や能力を学び、自分に足りない部分を確認するため。また海外で働く上で、どのような人が外国人に好まれるのか、どのように話せば伝わるのかなど実践的な経験を積むため。

そして、会社という組織について理解を深めるために実習しました。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

事業所概要			
事業所名	NiKKi Fron (Thailand) Co,Ltd	業種	製造業
国名・都市名	タイ・チョンブリ	勤務時間(日本時間)	8時30分~17時00分
従業員数(日本人数)	約60名(2名)	休憩時間	午前10分+昼40分+午後10分
休日	土、日		

タイの工場ではクラッチフェーシングが主要な製造部品。

日本の本社について、

代表者 代表取締役社長 春日孝之

所在地 長野県長野市穂保 409-2

設立 1944 年 2 月

資本金 5000 万円

売上高 75 億円 (グループ全体)

従業員数 300 名

行っている事業、

高機能性プラスチック (フッ素樹脂 設計/成型/加工)

繊維強化プラスチック (摩擦材・CFRP 設計/成型/加工)

プラスチック成形機 (射出・ブロー成形機 設計/成型/加工)

3. 実習日程

Chapter3 schedule

- 8月20日(月) 社員の方によるプレゼンでの事業説明、工場見学をしながら各工程の説明
- 8月21日(火) 製造工程に実際入り、作業を行う。素材製造工程・成形工程・品質管理工程
タイ語講座
- 8月22日(水) 部署機能説明、タイ語講座
- 8月23日(木) 展示会に同行
- 8月24日(金) 技術部の主任の方からクラッチフェーシングについて説明、タイ語研修
- 8月25, 26日 休暇
- 8月27, 28日 テーマ研修
- 8月28, 29日 まとめ・発表

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

8月20日～8月24日 工場説明、職業体験

8/20、午前中に工場の説明を受けてから、午後はクラッチの成形加工の体験をしました。

8/21、午前中はタイ語の講座に変わりました。午後は、クラッチの加熱成形の体験をしました。

8/22、午前中に、社員の方から経済・経営の話をしていただきました。午後は、廃材を用いた製品の製造体験をしました。

8/23、展示会へ行き、営業の同行をしました。

8/24、午前中はタイ語講座をしました。午後は、品質管理の体験をしました。

下の写真は品質管理の風景です。



8/25, 26、休日。タイの観光をしました。

主に行った場所はカオサン通り、ワットポー・ワットアルン・ワットプラケオ。



8/27~31、テーマ(改善提案)についてプレゼン作製、発表。

この日からは、1日中プレゼンにむけてスライド作成に励みました。

分からないことがあれば自ら工場に出向き、社員の方に質問しました。

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

私が成長したと感じる事は、自分から行動することに対し、恥ずかしさや気まずさをあまり感じなくなった事です。私がインターンに行く前は、自分の意見や気持ちを自分の中に留めておくことが多く、周りに対して過剰に気を遣っていました。しかし、このインターンが終わった頃には、自分の意見は恥ずかしいものではなく、むしろ堂々としているべきだと思えるようになりました。

また、俗に言われる人見知りというものが克服できたと思います。それはやはり海外へインターンシップに行けたことが大きい要因だと考えています。現地の方とは、言葉が通じませんし、英語での会話も上手くいかないことがあります。ですが、私が手振りなどを使って一生懸命に話しかければ、タイの方は皆優しい笑顔と態度で接してくれます。そこで、話すことの不安要素がなくなり、今まで小さなことで悩んでいたのだなと思わせられました。

つまり、もっと主体的に動いていくべきだと、海外インターンに行くことでそう思うことが出来ました。

そしてさらに、仕事を体験したことで、会社についての価値観を変えることが出来ました。また、勉強面では経済・経営のお話をしていただき、一方で仕事のやりがいなども伺うことができたので、自分としては、就職する際にどのようなことを意識すればよいのか、これからどういう勉強を積めば良いのかの指標も得ることが出来ました。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

今後の課題は、英語や会話力です。

顕著にそれを感じたのは、インターンの実習中に、農業機械の展示会に行ったときです。そこでは、ヨーロッパやアジアの様々な国の企業が集まっており、聞こえてくる会話はすべて英語でした。また、私がインターンに行った企業の社員の方も英語で自社製品の売り込みをしていました。

これからの社会の動きは、自国の中で完結する事はなく、色々な国が関わり合って共によりよいものを目指して行くのだと感じました。その環境にこれから飛び込む私たちは、やはり英語や会話力が大きなポイントであると思いました。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

海外インターンシップに行こうか迷われている方は、経済面など抜きにして、気持ちでは自分に対して自信が持てていない人が多いと思います。それは私もそうでした。でも、今の私は自信を持って言えます。なかなか一歩を踏み出せないのなら、だまされたと思って行ってください。必ず、いまより素敵な自分になれます。そのためにも、固い思考はやめて、全て楽しむ勢いで、何でも吸収してください。この文を読んで、一人でも多くの方が海外インターンシップへ興味を持ってくれると嬉しいです。

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

Nikki Fron 株式会社の皆様に、インターンシップの協力・支援をしていただいたことを心より感謝を申し上げます。そして、インターンに行くまでに色々な手続きを進めてくださった、柳澤様には本当にお世話になりました。また、タイで主にお世話になりました酒井様、森山様には生活面から勉強面まで沢山のことを学ばせていただきました。いつも私たちのことを気にかけてくださり、休日までもお世話になりまして、本当に感謝しております。そして、ペーさん。タイ語講座では、ペーさんのおかげで沢山のタイ語が学べました。タイ語が分からないときの通訳もしてくださり、お世話になりました。最後に、タイの Nikki Fron の皆様、約2週間の間ですがお世話になりました。貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。